

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	WI	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	3	派遣国	ベルギー
派遣大学	ルーヴァンカトリック大学サンルイ・ブリュッセル校		
期 間	2025 年 9 月 12 日～ 2026 年 6 月 27 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○暖房のみ	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (92,700) 円 (515€, 1€=180 円で計算) *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (3) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	40,000 円	自炊が中心だった
学用品購入費	2,000 円	日本から持参したものを使用していたので、ほとんど買っていない
交通費	3,000 円	学生乗り放題 (ブリュッセル内) の交通カード (Mobib card) を到着時に購入した
交際費	25,000 円	旅行やイベント等
通信費	3,500 円	現地で esim を契約した
その他	円	

合計

73,500 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

大学があるブリュッセルの中心地はホームレスが多い。
 夜に一人で歩く場合は注意が必要。
 EU 施設があり、日常的にデモやストライキが行われているため注意が必要。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(12 万) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**ブリュッセル**)

ブリュッセルはベルギーの首都で人口約 130 万人が住む都市である。ベルギーはオランダ語、フランス語、ドイツ語を公用語としており、ブリュッセル首都地域ではフランス語とオランダ語が公用語となっている。ブリュッセルにはフランス語を話す人が多い。街中では英語も比較的通じやすい。EU の主要機関が置かれているほか、NATO 本部も所在しており、欧州および国際政治の重要な拠点となっている。そのため、EU 加盟国をはじめ、アフリカ、中東、アジアなどさまざまな地域にルーツを持つ人々が暮らす国際色豊かな都市でもある。市内には地下鉄、トラム、バス、鉄道などの公共交通機関が整備されており、移動しやすい。ヨーロッパの中心部に位置するため、フランス、オランダ、ドイツなど周辺国へのアクセスが良いことも特徴である。物価は日本と比較すると全体的に高く、特に外食費が高い。レストランで食事をすると一食 15～25 ユーロ程度かかることも多い一方、スーパーで食材を購入して自炊することで生活費を抑えることができる。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ルーヴァンカトリック大学サ ンルイ・ブリュッセル校	所在地	Bd du Jardin Botanique 43, 1000 Bruxelles, Belgium
最寄空港	ブリュッセル国際空港	空港からの距離	14 km
空港⇄大学	(Zaventem→バス or 電車→Rogier→徒歩→大学) *移動手段 バス:60 分、電車:20 分		
学生数	約 4700 人	留学生数	約 1100 人
学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 哲学・文学・人文科学部 ・ 法学部 ・ 経済・社会・政治・コミュニケーション学部 ・ 翻訳・通訳学部 <p style="text-align: right;">*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	経済・社会・政治・コミュニケーション学部/政治科学 <p style="text-align: right;">*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Political Science		French as a foreign language for exchange students (complete beginner 2)		Seminar in international and European Organizations
午後	International Relations		English for Erasmus (Intermediate level)		

② (2)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		English for Erasmus (Advanced level)	French as a foreign language for exchange students (elementary level)	History of European Integration Introduction to Belgian Politics	EU Politics
午後				International Communication	

3. 履修内容

科目	Political Science		
履修期間	秋学期	単位数	5 ECTS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）講義形式 政治科学の基礎的な講義 筆記試験 100%		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目	国際教養学部留学科目 A	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	International Relations		
履修期間	秋学期	単位数	5 ECTS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）講義形式 国際関係論 筆記試験 50%、レポート 50%		
成績	13/20		
YCU 振替予定	科目	国際関係論	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	French as a foreign language for exchange students (complete beginner 2)		
履修期間	秋学期	単位数	5 ECTS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）少人数授業 フランス語 A1 レベル 口頭試験、筆記試験		
成績	17/20		
YCU 振替予定	科目	留学科目・共通教養 A	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	English for Erasmus (Intermediate level)		
履修期間	秋学期	単位数	5 ETCS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）少人数授業 ディスカッションが中心 小テスト、グループプレゼンテーション、筆記試験		
成績	17/20		
YCU 振替予定	科目	留学科目・共通教養 B	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Seminar in international and European Organizations		
履修期間	秋学期	単位数	5 ETCS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）講義形式 国際機関、EU についての講義 EU 施設の訪問、模擬国連スピーチ（グループワーク） グループワーク、筆記試験		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目	国際教養学部留学科目 B	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	English for Erasmus (Advanced level)		
履修期間	春学期	単位数	5 ETCS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）少人数授業 ディスカッションが中心 小テスト、プレゼンテーション、筆記試験		
成績	15/20		
YCU 振替予定	科目	留学科目・共通教養 C	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	French as a foreign language for exchange students (elementary level)		
履修期間	春学期	単位数	5 ETCS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）少人数授業 フランス語 A2 レベル 口頭試験、筆記試験		
成績	16/20		
YCU 振替予定	科目	留学科目・共通教養 D	
	単位数		
	担当教員		

科目	History of European Integration		
履修期間	春学期	単位数	5 ETCS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）講義形式 ESCS から現在の EU までの統合の歴史 筆記試験 100%		
成績	15/20		
YCU 振替予定	科目	ヨーロッパ統合論	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Introduction to Belgian Politics		
履修期間	春学期	単位数	5 ETCS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）講義形式 ベルギーの政治システムについての講義 グループプレゼンテーション、レポート		
成績	15/20		
YCU 振替予定	科目	国際教養学部留学科目 C	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	International Communication		
履修期間	春学期	単位数	5 ETCS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）講義形式 メディアを中心にしたコミュニケーションの発展についての講義 筆記試験 100%		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目	国際教養学部留学科目 D	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	EU Politics		
履修期間	春学期	単位数	5 ETCS
授業内容／形態	週一コマ（2 時間）講義形式 EU の歴史と政治システムについて 筆記試験 100%		
成績	10/20		
YCU 振替予定	科目	国際教養学部留学科目 E	
	単位数	2	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回の交換留学を振り返ると、語学力や専門知識の向上だけでなく、自分自身の価値観や将来の選択肢を大きく広げる経験となったと感じている。

学業面では、政治科学や EU 政治を中心に日本ではなかなか触れることのできない視点から国際政治について学ぶことができた。2 年次の 9 月から留学したため、専門科目の知識やそれに対する語学力は留学初期の課題であった。専門用語や独特な言い回しなどを留学前からもっと勉強しておけばよかったと思っている。また、特に印象的だったのは、EU の主要機関が集まるブリュッセルで EU について学べたことである。授業で扱われる政治制度や政策、欧州が直面している問題を、自分が生活している社会で実際に起きていることとして捉えることができた。EU 機関を訪問したり、NATO と建物を見たり、EU 政策に反対するデモを見たり、大学で学ぶ内容と現実の政治との距離が非常に近い環境で学べたことは、ブリュッセルへの留学ならではの経験だったと思う。

ブリュッセルでの日常生活は、毎日が刺激的だった。ブリュッセルには多様な国籍やバックグラウンドを持つ人々が暮らしており、最も国際的な街の一つである。歴史的に移民が多い国であり、良い意味で誰がベルギー人かわからない多文化社会である。9 月に到着した時は、その点で衝撃を受けた。一方で郊外に行くとフランス語/オランダ語しか聞こえない環境で、ブリュッセルの特異性を日々感じていた。言語面に関しては、ルーヴァンカトリック大学はフランス語系の大学であり、ブリュッセル市内でもオランダ語よりも圧倒的にフランス語を聞く・使う機会が多かった。公用語が複数ある国なので、ベルギー人の間でも英語が用いられることもあり、ブリュッセルではほとんど英語が通じた。様々なアイデンティティを持つ人々がいたため、周りの環境に馴染みやすかったのは良かった点である。英語を伸ばしつつ、初心者レベルのフランス語も勉強できたので、他のフランス語圏よりも自分に合った環境だったと感じている。

この交換留学期間は、友達にも恵まれた 10 か月間だった。学生寮では、一緒に料理や食事をしたり、試験前には一緒に勉強をしたりするなど楽しく過ごすことができた。大学が繁華街から近かったのも、バーやパーティーに行くこともあった。友達と一緒に過ごした時間はかけがえのない思い出である。終わってみると一瞬のように感じるが、この 10 か月はとても充実していて、長いようにも感じている。留学先がブリュッセルで本当に良かった。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の交換留学で得た経験を一時的なものとして終わらせず、今後の大学での学習や進路選択につなげていきたい。

留学中に学んだ国際関係、EU 政治などを基礎として、国際政治についてさらに専門的に学びたいと考えている。留学先で深めた専門性を活かして卒業研究に取り組みたい。

また、語学学習も継続したい。英語については、専門的な議論を理解し、自分の考えを論理的に発信できる能力身につけたい。フランス語についても、ベルギーで学んだ基礎を失わないように継続して学習し、日常会話レベルを最初の目標として頑張りたい。

進路については、留学を経験したことで、より選択肢の幅が広がった。現時点で将来の進路を一つに限定するのではなく、就職や大学院進学など複数の可能性を検討しながら、自分がどのような形で国際社会に関わりたいかを考えていきたい。卒論や就活が本格的に始まる前に選択肢の幅を広げられたので、2 年次後期からの留学は進路選択という点でも良いタイミングだったと考えている。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学を考えている学生は、語学力や準備が完璧になるまで待つのではなく、交換留学にぜひ挑戦してほしいと思う。私は、国際的なバックグラウンドがあるわけでもなく、大学進学までは授業以外でほとんど英語を使ったことがなかった。初めての海外生活で様々な不安があったが、実際に交換留学をして行ってよかったと思うし、もっと早くから国際的な経験をしたかったと思っている。

留学というと、勉強で忙しいイメージがあったが、実際に留学してみて日本にいた時よりも学業と遊びを両立しやすかった。横市での学生生活では学業以外にもバイトや部活で忙しかったが、留学先では自由な時間が多く、友人と外出したり、旅行に行ったりとたくさんのかたちを経験できたし、自分の将来の進路選択についてゆっくり考えることができた。

大学の授業での学びだけでなく、大学のイベントに参加したり、現地の学生や留学生と遊んだりするなど、自分から大学の外に出ることで経験の幅は大きく広がる。交換留学では、自分から行動するかどうかによって得られる経験が大きく変わると感じた。